

**JISA-DI調査、情報サービス業 売上の将来見通し／雇用判断**  
**令和2年10～12月売上高DI、▲5.3ポイント(マイナス)**  
**雇用判断DI(従業員の不足感)、31.6ポイント**

JISA-DI調査(令和2年9月)では、令和2年10～12月期の売上高全体の予測DIは▲5.3ポイント(マイナス)となった。主要業務種類別では、「受注ソフトウェア」「ソフトウェアプロダクト」は前期同様のマイナス幅、「計算事務等情報処理」「システム等管理運営受託」「データベースサービス」はマイナスに転じ、「各種調査」はマイナスからプラスマイナス0に、「セキュリティサービス」はプラス幅を拡大、「サーバーハウジング/ホスティング」はプラスに転じた。主要相手先別では、「製造業」「卸売・小売業」「金融・保険業」は前期同様のマイナス幅、「電気・ガス業」「情報通信業」「サービス業」「建設・不動産業」はマイナス幅を縮小、「官公庁・団体」はプラス幅を広げた。また、雇用判断(従業員の不足感)は、31.6ポイントとなった。

調査対象: JISA理事会社及び主要企業  
 調査時期: 令和2年9月末時点での判断

(1)情報サービス業の売上の将来見通し (今後3か月の当期3か月との比較)

(1)-1 業務種類別

区分		期別	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
売上全体	増加(A)		31.6	44.8	0.0	11.7	14.0
	横ばい		61.4	51.7	53.8	60.0	66.7
	減少(B)		7.0	3.4	46.2	28.3	19.3
	DI(A-B)		24.6	41.4	▲ 46.2	▲ 16.7	▲ 5.3
主要業務種類別	受注ソフトウェア	増加(A)	36.5	45.3	0.0	14.3	7.7
		横ばい	55.8	54.7	56.3	55.4	61.5
		減少(B)	7.7	0.0	43.8	30.4	30.8
		DI(A-B)	28.8	45.3	▲ 43.8	▲ 16.1	▲ 23.1
	ソフトウェアプロダクト	増加(A)	24.2	40.5	3.0	7.3	7.5
		横ばい	63.6	56.8	60.6	73.2	75.0
		減少(B)	12.1	2.7	36.4	19.5	17.5
		DI(A-B)	12.1	37.8	▲ 33.3	▲ 12.2	▲ 10.0
	計算事務等情報処理	増加(A)	11.1	14.8	9.5	13.0	4.8
		横ばい	85.2	81.5	76.2	82.6	85.7
		減少(B)	3.7	3.7	14.3	4.3	9.5
		DI(A-B)	7.4	11.1	▲ 4.8	8.7	▲ 4.8
	システム等管理運営受託	増加(A)	24.3	19.4	2.8	22.0	5.6
		横ばい	70.3	80.6	91.7	75.6	86.1
		減少(B)	5.4	0.0	5.6	2.4	8.3
		DI(A-B)	18.9	19.4	▲ 2.8	19.5	▲ 2.8
	データベースサービス	増加(A)	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		横ばい	81.8	100.0	100.0	100.0	87.5
		減少(B)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
		DI(A-B)	18.2	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5
	各種調査	増加(A)	14.3	0.0	0.0	0.0	20.0
		横ばい	85.7	100.0	75.0	80.0	60.0
		減少(B)	0.0	0.0	25.0	20.0	20.0
		DI(A-B)	14.3	0.0	▲ 25.0	▲ 20.0	0.0
	セキュリティサービス	増加(A)	25.0	32.1	8.7	13.0	22.7
		横ばい	71.4	67.9	78.3	87.0	77.3
		減少(B)	3.6	0.0	13.0	0.0	0.0
		DI(A-B)	21.4	32.1	▲ 4.3	13.0	22.7
サーバハウジング、サーバホスティング	増加(A)	22.2	8.0	4.8	4.2	17.4	
	横ばい	66.7	80.0	81.0	87.5	73.9	
	減少(B)	11.1	12.0	14.3	8.3	8.7	
	DI(A-B)	11.1	▲ 4.0	▲ 9.5	▲ 4.2	8.7	

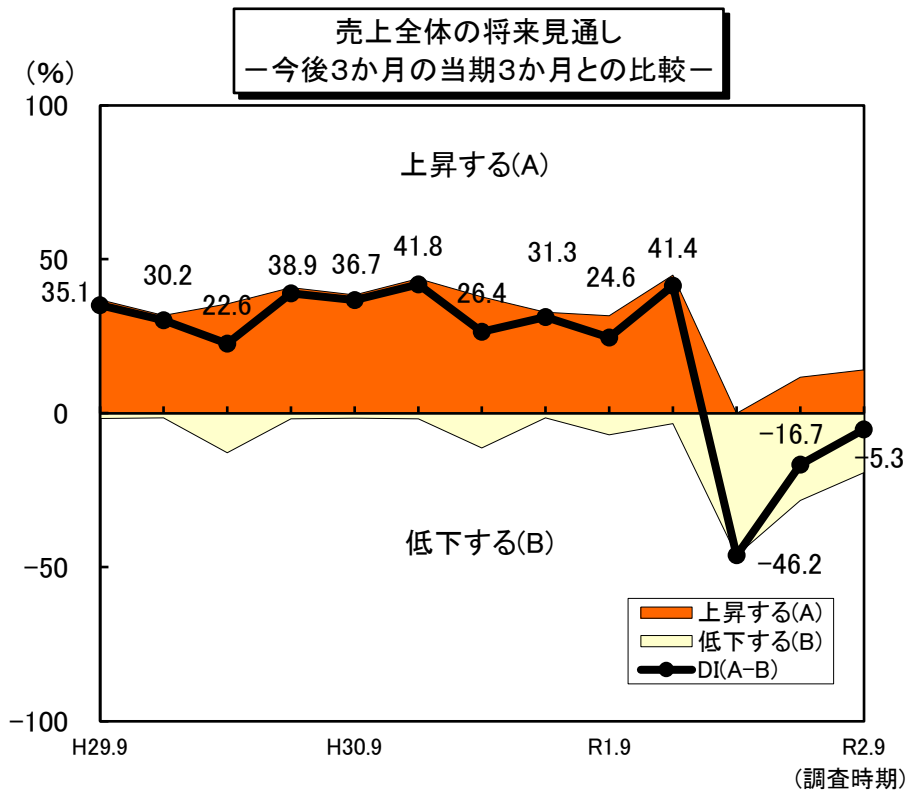
(1)ー2 主要相手先別（今後3か月の当期3か月との比較）

区分			期別				
			令和元年 10～12月	令和2年 1～3月	令和2年 4～6月	令和2年 7～9月	令和2年 10～12月
主 要 相 手 先 別	製造業	増加(A)	27.9	34.8	2.4	8.5	4.5
		横ばい	67.4	63.0	46.3	42.6	50.0
		減少(B)	4.7	2.2	51.2	48.9	45.5
		DI(A-B)	23.3	32.6	▲ 48.8	▲ 40.4	▲ 40.9
	電気・ガス業	増加(A)	38.7	22.9	0.0	0.0	6.7
		横ばい	61.3	71.4	75.9	74.3	83.3
		減少(B)	0.0	5.7	24.1	25.7	10.0
		DI(A-B)	38.7	17.1	▲ 24.1	▲ 25.7	▲ 3.3
	情報通信業	増加(A)	43.6	43.2	2.6	18.2	13.3
		横ばい	51.3	50.0	71.1	59.1	71.1
		減少(B)	5.1	6.8	26.3	22.7	15.6
		DI(A-B)	38.5	36.4	▲ 23.7	▲ 4.5	▲ 2.2
	卸売・小売業	増加(A)	25.6	35.9	5.7	5.3	2.6
		横ばい	66.7	64.1	54.3	55.3	63.2
		減少(B)	7.7	0.0	40.0	39.5	34.2
		DI(A-B)	17.9	35.9	▲ 34.3	▲ 34.2	▲ 31.6
	金融・保険業	増加(A)	26.2	25.0	8.1	8.7	11.6
		横ばい	54.8	65.9	54.1	56.5	46.5
		減少(B)	19.0	9.1	37.8	34.8	41.9
		DI(A-B)	7.1	15.9	▲ 29.7	▲ 26.1	▲ 30.2
	サービス業	増加(A)	30.6	31.0	5.6	0.0	2.6
		横ばい	69.4	64.3	55.6	65.8	73.7
		減少(B)	0.0	4.8	38.9	34.2	23.7
		DI(A-B)	30.6	26.2	▲ 33.3	▲ 34.2	▲ 21.1
	官公庁・団体	増加(A)	31.0	43.9	8.1	19.0	26.2
		横ばい	59.5	53.7	73.0	69.0	64.3
		減少(B)	9.5	2.4	18.9	11.9	9.5
		DI(A-B)	21.4	41.5	▲ 10.8	7.1	16.7
建設・不動産業	増加(A)	30.8	24.2	0.0	3.3	9.7	
	横ばい	69.2	75.8	63.0	80.0	74.2	
	減少(B)	0.0	0.0	37.0	16.7	16.1	
	DI(A-B)	30.8	24.2	▲ 37.0	▲ 13.3	▲ 6.5	

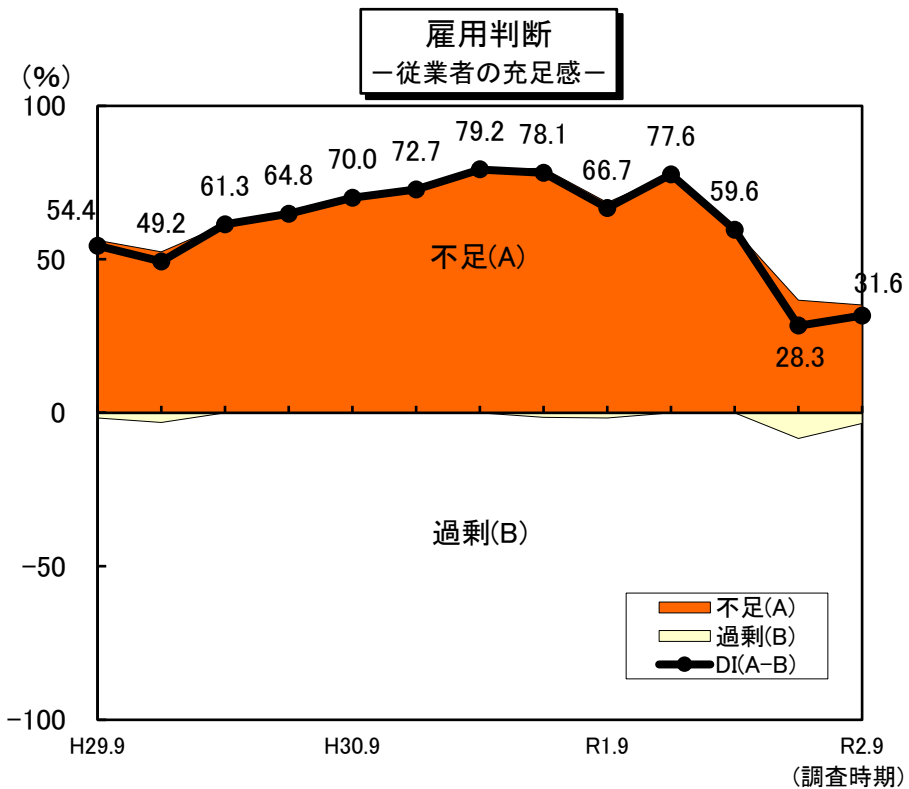
(2)情報サービス業の雇用判断

区分		期別				
		令和元年 9月末現在	令和元年 12月末現在	令和2年 3月末現在	令和2年 6月末現在	令和2年 9月末現在
雇用判断 (従業者の充足感)	不足(A)	68.4	77.6	59.6	36.7	35.1
	適正	29.8	22.4	40.4	55.0	61.4
	過剰(B)	1.8	0.0	0.0	8.3	3.5
	DI(A-B)	66.7	77.6	59.6	28.3	31.6

# 情報サービス業 DI（売上見通し、雇用判断）



- 便宜上、「上昇する」をプラス側、「低下する」をマイナス側に作図してある。
- 売上高DI値は、「上昇する(%)」-「低下する(%)」であり、単位は%ポイントとなる。  
折れ線グラフが上に行くほど「売上見通し好調」を意味する。



- 便宜上、「不足」をプラス側、「過剰」をマイナス側に作図してある。
- 雇用判断DI値は、「不足(%)」-「過剰(%)」であり、単位は%ポイントとなる。  
折れ線グラフが上に行くほど「人手不足」を意味する。